

## 平成 27 年度 事業報告書

### 1. 総括

今年度は、地域に活動を広めることを目指し、平成 25 年度に発足させた「環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会」を中心に「世界一の環境学習のまち みずしま」を目指した取組みに力を入れた。ロードマップの作成やワーキンググループの立ち上げを行い、具体化を進めた。そのことにより、岡山大学と連携した授業の継続、初となる中学生修学旅行の受け入れ、留学生の研修の増加など、視察研修の受け入れが増えており、学びのできる地域としての定着に向けて一層の前進をすることのできた年となった。

その一方で海ごみに関する国、県、市などからの事業受託については、企画提案を行ったものの実現には至らず、事業獲得に向けての課題も残った。中長期計画策定の年ではあったが、財政状況の立て直しが急務であり、理事会や拡大事務局会議等で 10 回議論し検討を重ねたが、中長期計画の策定には至らず、次年度に持ち越すこととなった。

財政面では、平成 26 年度の状況から立て直しを図り、賛助会員の拡大、支出の精査・削減等に取り組んだ。視察研修事業や講師派遣等では、リピーターに加え新規の受け入れ先が増え、当初予定を上回る成果を上げることができた。今年は、2000 万円の大口寄附があった。そのため、寄附金から 700 万円を基本財産の増資に充て、基本財産を 1000 万円にした。その一方で、想定していた委託事業が取れないなど、当初の予定通りにいかず、赤字体質からの脱却はできなかった。

### 2. 重点項目

#### 「世界一の環境学習のまち みずしま実現のために（環境省協働取組）」

一昨年度立ち上げた「環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会」を基に、①持続可能な協働のしくみを確立する、②対話を深める、③若者が学ぶ水島地域の確立の 3 本を柱に取り組みを進めた。

協働取組をより確実なものにするためのロードマップの作成、3 つのワーキンググループ（環境学習推進、企業市民、地域交流）の立ち上げ、「水島いいとこ探し」の地域内小学校への浸透とそれと連携した「バイクビズ・みずしま」イベントの開催、環境学習用リーフレットの作成などの取組を進めた。同時に、昨年度作成したパンフレットを基に、各団体等への働きかけや、協議会の活動を第 3 セクターに関する国際学会（ISTR）で発表したり、FM ラジオで情報発信を行うなど、活動をより広い主体に知ってもらうための取組を進めることができた。

#### 「瀬戸内海の再生に向けて」

国、県、市などに対して、従来行ってきた海底ごみ調査で得られた知見や、経験を活かした調査研究事業を行政に企画提案し、海底ごみ対策を具体的に進めていくことを目指したが、行政施策として実施までに到達せず委託事業の獲得には至らなかった。

#### 「環境保健」

昨年度に引き続き、独法）環境再生保全機構の事業として（公財）あおぞら財団が実施する「地域における COPD 対策推進事業」について倉敷分科会を担当した。倉敷での取り組みは「くらしき COPD ネットワーク」として医療従事者向け、一般市民・

患者向け講習会を開催するとともに、地域のイベント等での肺年齢測定の実践を進め、普及啓発活動を行った。また倉敷市、医師会、専門医や医療従事者で構成する検討会を年3回運営し、進め方等について議論を深めた。

### 「新・中長期計画の策定」

2007年に作成した中長期計画の最終年度にあたる本年度は、来年度以降の「新・中長期計画」の策定を目指したが、現在の財政状況等を鑑みて、今年度は財政の立て直しに注力することとし、理事会・評議員会、拡大事務局会議で今後の方向性について10回議論を行った。

## 3.個別項目

### 公益目的事業1（公1）

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざし、調査・研究、提言活動を実施した。

#### (1) 調査研究

##### 海の指導者育成

事業内容	平成26年度開催したフォーラム「30年後の海を考えよう！」を受けて、瀬戸内海の環境再生を進めるための人材育成事業を事業提案したが、実現できなかった。
------	--

##### 環境保健

事業内容	<p>平成26年度から3年間の事業として、独法)環境再生保全機構の予防事業として(公財)あおぞら財団が実施する「地域におけるCOPD対策推進事業」の倉敷分科会として取り組んだ。</p> <p>COPDの地域における予防と早期発見を目指した取組みを各種医療機関、行政、自治組織などと連携して取り組んだ。検討会では、地域におけるCOPD対策の進め方について議論をした。今年度の活動を取りまとめた報告書を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COPD検討会運営(5/25、9/29、2/22)</li> <li>・COPD全体検討会参加(大阪 1/29)</li> <li>・医療従事者向けCOPD講習会実施(7/9、11/21)</li> <li>・ミニ健康展での肺チェッカーによる肺年齢測定(7/16、9/19、10/3、9/30、10/25、11/11、11/18)</li> <li>・患者・市民向けCOPD講習会実施(7/29、9/30、11/25、2/16)</li> <li>・環境保健連絡会に参加(3/4)</li> </ul>
------	--

##### 海底ごみ減量化に向けた取り組み

事業内容	海ごみ減量化に向けた取り組みについて、関係各所に働きかけをおこなったが、実現しなかった。
------	--

##### 温暖化防止

事業内容	<p>日本共産党岡山県議団の政務調査費事業として委託を受け「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」の評価・分析を行った。今年度は、岡山県が本制度を見直しする時期にあたり、これまでの調査結果を取りまとめ提言書を作成した。作成後、県と懇談を行った。</p> <p>6/22 森脇県議との打ち合わせ</p>
------	--

7/28	提言書作成・提出
7/30	岡山県新エネルギー温暖化対策室と懇談
3/31	「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の改善にむけた提言 (2015年度版) 報告書」印刷

## (2) 提言活動

### 提言活動

<b>事業内容</b>	<p>調査研究活動等で得られた知見、また研究者やNPO等との連携を活かし、岡山県、倉敷市などの政策に対して意見を述べた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県河川整備検討委員会</li> <li>・岡山県環境審議会審議員 (10/30)</li> <li>・倉敷市生物多様性地域戦略推進委員会 (10/16)</li> <li>・新岡山県環境マネジメントシステム外部評価委員会 (2/22)</li> <li>・かんきょうひろば (4/17、7/15、10/16、1/15、3/18)</li> <li>・県民の意見を聴く会 (10/29)</li> <li>・倉敷市歴史文化基本構想ワーキンググループ (10/21、12/17、2/16 会議。3/19 シンポジウムに出席)</li> <li>・J Xエネルギー石炭火力発電計画：5/26 環境アセスメント説明会に参加。意見書は提出せず。</li> </ul>
-------------	---

## 公2 (公益目的事業2)

### 大気汚染公害・環境問題・環境再生・まちづくりに関わる普及啓発・支援事業

水島の公害経験を活かし、国内外で公害のない、よりよい地域を創造することをめざし、公1「調査・研究・提言活動」で得られた知見を活用し、市民や企業、行政、NPO等に学習の場を提供、活動の支援、情報の収集提供をおこなう。

### (1) 講師派遣

<b>事業内容</b>	<p>高校・大学の授業や、公民館の講座等へ財団研究員を講師として派遣することで、水島の教訓や海の環境問題の現状などを伝え、市民の環境問題に対する理解を深め、意識の啓発を進めることができた。</p> <p>また、昨年度に引き続き、岡山大学実践型社会連携教育授業やグローバルパートナーズ授業で財団研究員が非常勤講師となり、授業の企画から実際の授業運営を行った。</p> <p>岡山大学実践型社会連携授業 前期の金曜3限の授業及び、3回のフィールドワークを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業 (4/10、4/17、5/22、6/5、6/19、6/26)</li> <li>・フィールドワーク (水島まち歩き・患者さんとの懇談 4/25、工場見学・企業OBから学ぶ 5/16、漁業体験 5/30)</li> </ul> <p>岡山大学グローバルパートナーズ ・フィールドワーク「高度経済成長の光と影 生産から廃棄、公害問題の現場に学ぶ」(7/4-5)</p> <p>その他、以下のテーマを中心に25回の講師派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*暮らしと環境・社会とのつながり (かんきょうひろば出前授業として) 「食と環境と交通を考える ～フードマイレージ買い物ゲームを通じて～」 5/21、6/20、7/24、7/31、9/12、10/21、12/3、1/19</li> <li>*水島の地域開発と公害の歴史 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり授業：倉敷芸術科学大学 (5/21)</li> <li>・倉敷公害とみずしま財団：倉敷芸術科学大学 (6/11)</li> </ul> </li> </ul>
-------------	---

	<p>*環境再生・まちづくり</p> <p>「八間川」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八間川をもっと知ろう！：水島小学校（7/9）</li> </ul> <p>「環境・まちづくりで働くということ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉敷南高等学校 ラーニングカフェ（7/23） 社会人講義（2/2）</li> </ul> <p>「公害裁判後の環境再生・まちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新日本医師協会岡山支部（2/10）</li> </ul> <p>*環境保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境再生保全機構予防事業研修（6/10）</li> </ul> <p>*海関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アマモ場観察会（牛窓）：フジイ印刷（7/11）</li> <li>・ 児島わくわく体験教室 in 六口島：児島青年会議所（7/25-26）</li> <li>・ 故郷の海レスキュー隊（中学生への講演）：海守さぬき会（8/5、10/28）</li> <li>・ 川と海と私の暮らし（漂着物アクセサリ作り）：ライフパーク倉敷（6/20）</li> <li>・ 瀬戸内海を知っていますか？（漂着物アクセサリ作り）：倉敷市クルクルセンター（8/7）</li> </ul> <p>瀬戸内の島で海の恵みを体感プログラム（漂着物アクセサリ作り）：岡山県旅客船協会（7/20、8/1）</p>
--	--

## (2) 研修・視察

事業内容	<p>毎年恒例となっている倉敷医療生活協同組合新入職員研修、川崎医科大学見学実習、水島エコツアー、岡山大学実践型社会連携教育授業、岡山大学グローバルパートナーズ研修に加えて、倉敷医療生協まちづくり委員会（組合員）研修等の受け入れを行った。今年度は、初めて佐賀市立成章中学校の修学旅行の受け入れを行い、水島の教訓を若い世代の人に伝えた。また、岡山県産業振興財団のレクリエーションツアーを今年度初めて受け入れ、学びを加えたレクリエーションを企業から受け入れたことは、今後の新たな方向が示唆された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倉敷医療生協新入職員研修（4/2）38名</li> <li>・ 川崎医科大学医学生受け入れ（4/15、5/20、6/10、9/16、9/30）129名</li> <li>・ 倉敷南高等学校 町衆プロジェクト（7/27）23名</li> <li>・ 岡山大学実践型社会連携授業フィールドワーク（4/25、5/16、5/30）各33名</li> <li>・ 岡山大学グローバル人材育成特別コース研修（7/4-5）32名</li> <li>・ 岡山大学グローバルパートナーズ（植村先生）（7/8、12/9）10名、37名</li> <li>・ 大学生のための社会見学&amp;エコツアー「工業と私たちの暮らしの共生を考える旅」（9/3-4）23名</li> <li>・ 高社研（備中エリア）視察研修受入（8/4）10名</li> <li>・ 岡山県芳泉高等学校 高校生体験受入（8/21）3名</li> <li>・ 佐賀市立成章中学校 修学旅行受入（9/15）175名</li> <li>・ 全国青年ジャンボリー フィールドワーク受入（9/28）150名</li> <li>・ 岡山大学さくらサイエンス事業 フィールドワーク受入（10/30）12名</li> <li>・ 岡山県産業振興財団 レクリエーションツアー受入（11/28）20名</li> <li>・ 倉敷医療生協まちづくり委員会 研修受入（12/8）17名</li> <li>・ 高梁川流域学校 Koduti フィールドワーク受入（2/6）30名</li> <li>・ 四日市大学 神長研究室研修受入（2/12-13）6名</li> <li>・ 中村学園大学 近江研究室研修受入（3/7）10名</li> </ul>
------	--

(3) 学習講座啓発

<p>事業内容</p>	<p>倉敷市環境学習センターと連携し、学びと交流の場を活用しながら八間川調査、海辺のエコしらべ、インタープリター養成講座を開催した。温暖化防止シンポジウムについては、倉敷市地球温暖化対策室主催と連携して省エネセミナーを開催した。また、各種イベント等にも出展し、市民へ広く普及啓発をおこなうことができた。</p> <p>当初事業計画になかった環境省「平成 27 年度社会教育施設における ESD 普及促進業務」を受託し、動物園や美術館で講座を開催しこれまであまり繋がりのなかった分野との関係性をつくることができた。</p> <p>講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八間川調査：倉敷市環境学習センター連携講座として 2 回開催した。 6/27、8/22</li> <li>・海辺のエコしらべ：倉敷市環境学習センター連携講座として開催した。連続講座として、ビーチグラスアクセサリ作りも開催した。 7/28 海辺のエコしらべ 8/4 ビーチグラスアクセサリ講座</li> <li>・くらしき省エネセミナー（温暖化防止）：倉敷市（11/26）</li> <li>・インタープリター養成講座 エコミュージアムの考え方を基礎から学び、水島でのエコミュージアムの可能性と、参加者が自分として何ができるかを考えることを目的に講座を開催した。講演とエコクルーズ体験、フィールドワークの形式で開催した。 3/5 講座「水島でエコミュージアムを学ぼう」 講師：嵯峨創平氏（岐阜県立森林文化アカデミー教授） コーディネーター：西村仁志氏（広島修道大学教授）</li> </ul> <p>イベント等への出展、展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷市環境フェスティバル 倉敷の海・アマモ（6/13）</li> <li>・展示「公害と子どもたちの暮らし」（倉敷市環境学習センター 7/21～7/31、9/1～10/2）</li> <li>・展示「海底ごみと私たちの暮らし」（倉敷市環境学習センター 8/10～8/31）</li> <li>・第 3 回おかやま環境教育ミーティング（8/18）</li> <li>・リサイクルフェア in くらしき 倉敷の海・海底ごみ（10/4）</li> </ul>
-------------	---

「501 人の命から」パンフレットの増刷

<p>事業内容</p>	<p>当初事業計画では、昨年度実施したフォーラム「30 年後の海を考えよう」を受けて、地域の子どもたちが瀬戸内海について学ぶことを企業が支援する仕組みづくりを目指したが、実現しなかった。そこで、事業内容を変更し、夢&amp;環境支援宮崎記念基金助成を受け、「501 人の命から」パンフレットの英訳、中国語訳版を各 300 部印刷した。</p> <p>「501 人の命から」パンフレットの英語訳、中国語訳 英語版、中国語版 各 300 部印刷</p>
-------------	--

支援連携

<p>事業内容</p>	<p>倉敷・総社温暖化対策協議会やエコらば倉敷などの市民団体・グループと連携し、環境保全を目的とした市民活動のレベルアップを目指した取組みを進めた。環境月間における倉敷市との懇談会は、環境学習をテーマに開催し、市民・行政・企業が連携をしながら水島での学びについて考えるきっかけとすること</p>
-------------	---

ができた。

地域の団体の支援では、水島おかみさん会から事務委託を受けて水島夢 Koi・Koi！実行委員会、水島お雛めぐり実行委員会などの開催支援をした。

・エコらぼ倉敷

エコらぼ倉敷を事務局として運営し、倉敷市の環境施策や環境学習について議論を行った。7月13日に環境月間における懇談会、10月25日に環境基本計画を学び育てる懇談会を実施した。

「エコらぼ倉敷」

4/20、5/11、6/8、8/31、9/14、

「環境月間における懇談会」

13回目となる今年度も昨年に引き続き西村仁志氏を講師に招き、「水島の持つ資源や要素を活かした新しい学びづくり～多様な力を集めて、子どもの学びを支える～」をテーマに、行政・市民・市民団体が対話をしながら水島をフィールドに分野別の環境学習プログラムを考える形式で実施した。

講師・コーディネーター：西村仁志氏（広島修道大学）

7/13 34名参加

「環境基本計画を学び育てる懇談会」

倉敷市第二次環境基本計画の進捗状況の把握、評価の協働実施をめざして実施した。今年度は、倉敷市第二次環境基本計画の概要と進捗に加え、環境基本計画の進捗状況について、大気環境の現状と今後の見通し、石炭火力発電所による温室効果ガス・大気汚染物質の増加の懸念について、海ゴミ対策（回収処理の拡大と発生抑制）について、倉敷市の環境学習についてといったことをテーマに倉敷市の担当職員に解説を依頼し、意見交換を行った。

環境政策講座「環境基本計画を学び、育てる懇談会」（10/26）

名参加（市民12名、行政8名）

倉敷総社温暖化対策協議会

交通システムグループを担当し、「自転車水島いいところを訪ねる」イベントを2回実施し、パネル展示を行った。

・交通システムグループ会議（4/2、5/1、6/19、7/14、8/20、10/15、12/22、2/2、3/17）

・「世界一の環境学習のまち みずしまのいいところを訪ねよう」（連島編）（5/29）

・バイクビズ・みずしま 「親子で水島のいいところを探そう！」（福田編）（11/22）

くらしき環境フェスティバルでパネル展示（6/13）

高梁川流域学校

高梁川流域の歴史、自然、文化などを学びの資源として活用し、地域の活性化につなげる取組が6月28日に開校式を開催し、スタートした。みずしま財団も、高梁川ごみ調査、学生プランコンテストなどで協力した。

高梁川流域学校開校式（6/28）

高梁川一斉クリーン活動でゴミ調査に講師として参加（11/29）

学生プランコンテスト“Koduti”フィールドワーク受入（2/6）

瀬戸内の環境を守る連絡会

瀬戸内地域の環境問題に取り組む市民団体の連絡組織として1972年に設立された連絡会の事務局を明石から水島に移すにあたり、事務局を担当した。6月3日の総行動閉鎖性海域対策室交渉を担当した。

STOP 温暖化くらしき実行委員会

	<p>実行委員会に参加、運営に協力した。</p> <p>STOP 温暖化くらしきミーティング (12/13)</p> <p>実行委員会 (4/13、7/15、10/26、11/26、1/22、2/29)</p> <p>監査 (4/8)</p> <p>おかやま環境教育ミーティング (事務局 アスエコ) : 実行委員会に参加するとともに、当日も参加・出展し、開催に協力した。</p> <p>第3回 おかやま環境教育ミーティング (8/18)</p> <p>実行委員会 (8/7、1/28、3/18)</p> <p>水島おかみさん会</p> <p>みずしま夢 Koi・Koi! 実行委員会 (4/7、6/30、9/8、10/16)</p> <p>水島港まつり 夢 Koi の日 (8/2)</p> <p>ボランティア・マッチング会</p> <p>岡山 NPO センターからの紹介で、ボランティアを希望する市民と NPO 団体との交流イベントに参加・出展した。(1/16)</p>
--	---

## 和解記念

事業内容	<p>昨年度に引き続き、毎年開催しているクリスマスコンサートを一般市民に開かれたものとし、まちづくりについて語り合う場として定着を目指した。参加者層も従来より幅広い参加を呼びかけ、「世界一の環境学習のまち みずしま」を目指した「水島いいところ探し」の小学生の回答を報告し、まちづくりの取組みについて交流を行うことができた。</p> <p>クリスマスコンサート in みずしま (12/23)</p> <p>演奏：ムジカくらしき弦楽四重奏</p> <p>会場：倉敷環境交流スクエア (水島愛あいサロン) コミュニティフロア</p>
------	--

## 環境省協働事業

事業内容	<p>昨年度に引き続き環境省「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」として委託を受けて実施した。</p> <p>今年度事業では、「深化する協働「新しい学びのしくみ」で地域と対話し、発信する」をテーマに、3つの柱を中心に取組を進めた。</p> <p>①持続可能な協働のしくみを確立する：協働取組を持続可能なものとするために本取組のロードマップを作成し、その実現に向けて議論を行った。具体的な取組を進めるために、3つのワーキンググループ（環境学習推進、企業市民、地域交流）を立ち上げた。環境学習推進 WG では、環境学習教材としてのリーフレットを作成した。企業市民 WG では、企業と地域とのつながりの強化に向けて取組を議論した。地域交流 WG では、地域をつなぐ「バイクビズ」イベントを開催した。</p> <p>②対話を深める：地域住民に本取組への理解、賛同を広めるために、「水島いいところ百選」を水島地域内 12 の小学校に配布し、アプローチした。「バイクビズ・みずしま」イベントを開催するとともにコミュニティメディア（FM くらしき）等を活用し、地域への情報発信をはかった。</p> <p>③若者が学ぶ地域の確立：岡山大学実践型社会連携授業やまちづくりの講座などに協議会のメンバーと一緒に取組、若者の学ぶ地域「水島」の確立を目指した。水島での取組を岡山大学と連携して第3セクターに関する国際的な学会（ISTR）で発表した。</p> <p>・環境学習を通じた人材育成・まちづくりを考える協議会の開催 (5/12、6/29、10/13、1/20)</p>
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会に参加 (6/16、11/4)</li> <li>・ISTR (第3セクターに関する国際学会) で取り組み発表 (8/27)</li> <li>・10/23 まちづくりセミナー「エネルギーを起点とした循環型まちづくり」</li> <li>・環境学習ワーキンググループ (10/29、2/10)</li> <li>・企業市民ワーキンググループ (11/11、2/25)</li> <li>・地域交流ワーキンググループ (11/16、3/2)</li> <li>・協働取組専門家によるヒアリング、現地視察 (11/16)</li> <li>・倉敷市南地区校長会で協議会の活動やテキストの紹介 (11/9)</li> <li>・バイクビズ・みずしまイベント開催 (11/22)</li> <li>・「水島いいところ探し」を水島地域12の小学校に配布 (10月下～11月上)</li> <li>・3/6 水島のまちを語り合う座談会 開催</li> </ul>
--	--

## たより

<b>事業内容</b>	<p>みずしま財団の活動を広く一般に周知し、活動への理解を広げることを目的に、広報紙「みずしま財団たより」の発行 (年4回 (うち1回は年賀状))、FM ぐらしき「みみみずしま財団エコらぼ Friday」(毎週金曜日)、ブログ、facebook 等による情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みずしま財団たより 季刊として、年4号発行した (内1回は、年賀状)。</li> <li>・FM ぐらしき「みみみずしま財団エコらぼ Friday」 みずしま財団の活動や環境に関する最新情報や地域情報などを発信した。 毎週金曜日 15:45～16:00</li> <li>・ソーシャルメディア等 サイト・ブログ、facebook、ツイッターの連動により、効果的な情報発信を目指した。</li> </ul>
-------------	---

## 出版

<b>事業内容</b>	<p>従来の出版物やビデオ等の資料の販売を行った。</p> <p>写真集や「501人の命から」パンフレットは、視察研修受け入れの資料として活用することができた。その他の報告書等については、活用・販売は進まなかったが、「501人の命から」報告書やビデオの販売があった。</p>
-------------	---

## 資料室

<b>事業内容</b>	<p>昨年度に引き続き、倉敷市公害患者と家族の会及び、倉敷市公害訴訟の資料整理を行った。整理した資料の一部をあさがお会館で閲覧できるように整備するとともに、昨年度作成した地域の子もたちに公害の歴史を学んでもらう展示用パネルを修正し、倉敷市環境学習センターで展示を行うなど、地域に還元する取り組みができた。</p> <p>また、全国公害資料館ネットワークに世話人として参加し、12月に四日市で開催されたフォーラムでは、フィールドワークの分科会を担当した。また、全国の団体と交流をし、知見を広げることができた。</p> <p>杏林大学江頭説子氏の生活史ヒアリングに協力を行った。</p> <p>倉敷市環境学習センター展示 「公害と子どもたちの暮らし」(7/21～7/31、9/1～10/2) 会場：倉敷市環境学習センター エコギャラリー</p> <p>全国公害資料館ネットワーク 実行委員会 (6/22、8/3、10/27、11/8、11/11、1/25)</p>
-------------	--



	CSR 研修 (新潟 6/4-5) 公害資料館フォーラム in 四日市 (12/11~13) 江頭説子先生ヒアリング (8/6、10/29、11/19、1/26)
--	---

## 組織

みずしま財団機関会議

理事会 (6/7、11/7、1/30、2/28)

理事長懇談会 (5/9、9/30)

理事懇談会 (8/8)

平成 26 (2014) 年度監査 (5/19)

平成 27 (2015) 年度中間監査 (10/26)

評議員会 (6/21、3/28)

事務局会議 (拡大事務局会議)

毎週木曜日の 10:00~12:00 で事務局会議を開催した。

月に 1 回理事、外部の協力者も参加する拡大事務局会議を開催した。

/以上